

佳作

千年後の地球を守る 岩手県花巻市立石鳥谷中学校 3年 吉田 寿飛

「千年後の地球を守る。」

これが、未来の自分に今一番伝えたいことだ。現在の地球では、地球温暖化の問題や民族同士の争いなどが起こり、地球の環境が必ずしも良いとは言えない。そして、今のままでは、千年後、平和に人々が暮らす地球があると、自信を持って言うことができない。だからこそ、今自分にできることを見つけ、実行していくことが必要不可欠なのである。

そこで、地球を守るために必要なことは何かを考えてみた。私が出した結論の一つ目は、全ての民族が一体となり、お互いを尊重し合いながら生活をしていくことだ。

千年後も美しい地球を守るためには、どこかの国だけが一生懸命に取り組んだだけでは成果が出ない。だから、世界に存在する 196 カ国全てが力を合わせて取り組むことが大切だと思う。

しかしながら、今の世界情勢は、ウクライナにロシアが武力侵攻をするなど、戦争や紛争が絶えない。現場のことは、ニュースを通してしかわかっていないのだが、これが今、同じ地球のどこかで起こっている出来事だと思うと、本当に胸が締めつけられる思いだ。

人はなぜ、戦うのだろうか。各国の主導者たちは、なぜ武力で決着をつけようとするのだろうか。私にはわからない。けんかや人を傷つけることでは何も変わらないということを、小さい頃からずっと言われてきているのに、なぜ大人たちは、それがわからないのだろうか。子どもの自分でもわかることを、なぜ大人たちはわからないのだろうか。本当に悲しくなる。

だからこそ、小さな声を大きな力に変えていきたい。今はSNSで世界と簡単に繋がるのが可能な世の中だ。そのツールを巧みに使い、自分と同じ考えを持つ多くの賛同者とともに、この世の中から戦争や紛争をなくしていきたい。

また二つ目として、宇宙開発にも力を入れることが大切だと考えている。なぜなら、いくら地球の環境を整えたとしても、地球にある資源には限りがあるからだ。そこで、いつまでも地球の有限な資源に頼るのではなく、宇宙に目を向けることが大切だと思う。

現在の宇宙開発の状況は、民間人でも宇宙旅行が可能な時代に突入した。また、2050年頃には、太陽系外の宇宙に無人探査を開始するそうだ。この広い宇

宙には、たくさんの資源がある。だから、その資源を有効に活用すれば、地球の未来も明るくなるだろう。

私の志望校でもある岩手県立花巻北高校では、宇宙衛星を打ち上げるプロジェクトに取り組んでいる。このプロジェクトは、衛星の開発過程を実現の場として最大限に活用し、生徒の非認知能力を養うことを目的としているそうだ。そのため、この取り組みに参加することによって、自分の能力をさらに高めることができると感じている。だから、私も実際にこのプロジェクトに参加し、資源を有効に活用する方法を模索しながら地球を守っていききたい。

最後に三つ目として、SDGsのことをもっと世界中の人々に広め、世界中で取り組んでもらうことだ。

SDGsとは、2015年に国連サミットで採択された、持続可能でよりよい世界を目指す17の国際目標のことである。この目標を達成できなければ、千年後の地球を守ることはできない。SDGsには、地球環境を守るための目標の他にも、さまざまな民族が共存し合うための目標がある。

私の学校の生徒会でも、SDGsの目標を達成するために、関連性のある活動に取り組んでいる。私たちが取り組んでいる活動は、目標達成に直接的に関係するものではないかもしれないが、今を生きる私たち若者が、これらの目標を意識することが、未来への第一歩になるのではないかと考えている。そして、そういった小さな活動が、世界中に広がっていくことを望んでいる。

地球は、とてもすばらしい惑星だ。だからこそ、今を生きる私たちが、地球を壊すような行為をしてはいけないし、千年先まで繋いでいかなければならないのだ。このことは、決して簡単に成し遂げられることではないかもしれないが、世界中の人たちと民族を越えた力を創り上げ、持続可能な社会をみんなで見守っていききたい。

最後に「千年後の地球を守る。」その強い意志を持ち続けた、立派な大人になってほしいと、未来の自分に伝えたい。